

## エポキシ樹脂系

優れた接着力で  
コンクリートと  
一体化!!

# アンカーボルト固定材

## エポボンド® ボントトップ®

コンクリート構造物の耐震補強工法や、壁面への部材取付基礎などの分野においては、一般にアンカーボルトを先に埋め込み、コンクリートを打設しますが、構造や施工条件により、後からコンクリートに穴をあけ、アンカーボルトや差し筋を接着剤にて固定する「あと施工アンカー工法」も幅広く用いられております。



▲アンカーボルト固定にボントトップWG(A)使用

### 特長

#### 強固に一体化

既設コンクリートとアンカーボルトを強固に固定します。

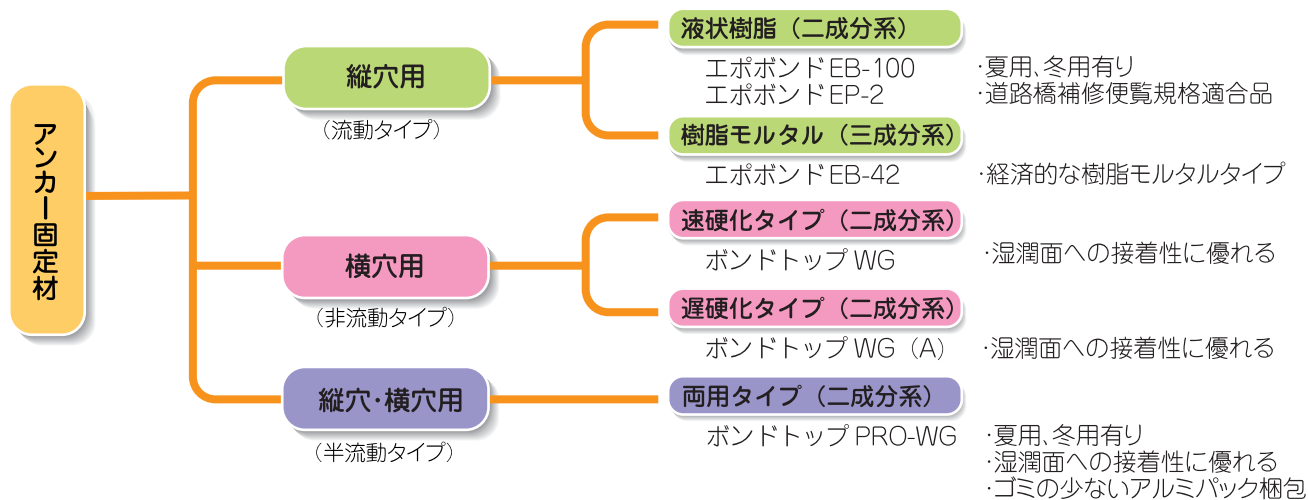
#### 湿潤面接着可能

ボントトップWG、ボントトップWG(A)、ボントトップPRO-WGは湿潤面への接着も良好です。

#### 硬化収縮が少ない

無溶剤タイプのエポキシ系接着剤ですので、硬化時の収縮が少なく、良好な充填が出来ます。

### 品 種



※水平面にはエポボンドタイプを、垂直面にはボントトップタイプをご使用下さい。  
半流動タイプのボントトップPRO-WGは、水平面、垂直面の両方にご使用可能です。

### 用 途

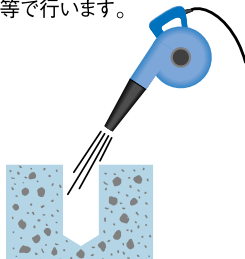
- ブラケット、タラップ、手摺などの各種構造部材の取付
- 防舩材、車止め用差筋などの各種港湾施設部材の取付
- 橋梁補強、耐震構造補強などのコンクリート構造物補強差筋固定用
- 土木、建築関係のアンカー、差筋工事一般

## 施工手順 (水平面の場合)

### ①削孔

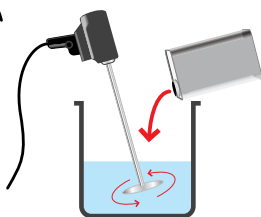
### ②清掃

コンプレッサー、ブロアー等で行います。

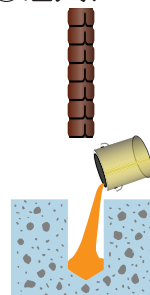


### ③混合

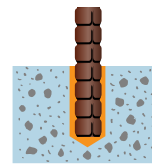
配合比率の通り充分混合します。



### ④注入、



### ⑤硬化養生



## 施工上の注意

- (1) 主剤と硬化剤の混合は、むらのないように十分に攪拌して下さい。
- (2) 接着面の水溜まりや、油、グリス等によるよごれは、コンプレッサー、ブラスト処理等で取り除いて下さい。
- (3) 温度、混合量によって可使時間が変わります。混合した物はすぐに使用して下さい。
- (4) エポキシ製品のため皮膚に触れたり、蒸気を吸入すると皮膚、粘膜障害を起こす恐れがあります。作業場所は換気を良くし、保護手袋、前掛等を着用して取扱い下さい。
- (5) 使用前に製品添付の取扱い説明書を必ずお読み下さい。
- (6) 製品の安全性に関しては、安全データシート(SDS)を確認して下さい。

## 一般物性

試験項目	単位	エポボンド			ボンドトップ		
		EB-100	EP-2	EB-42	WG	WG(A)	PRO-WG
混合割合 (重量比) (主剤:硬化剤)	—	4 : 1	3 : 1	3 : 1 : 20	2 : 1	2 : 1	2 : 1
硬化物色	—	乳白色	乳白色	グレー色	グレー色	グレー色	グレー色
混合物粘度 (23℃)	Pa·s	5.0±2.5	5.0以下(2.0±1.0)	流動性	クリーム状	クリーム状	半流動性
可使時間 (23℃) *1	min	70±20 (夏用)・30±15 (冬用)	30以上	60±20	12以上	50以上	30以上 (夏用・冬用(10℃))
硬化時間 (23℃) *2	h	12以下 (夏用)・12以下 (冬用)	12以下	16以下	12以下	18以下	19*4 (夏用)・6*4 (冬用)
曲げ強度	N/mm <sup>2</sup>	45以上	40以上	20以上	40以上	40以上	30以上
引張強度		25以上	20以上	—	15以上	15以上	15以上
圧縮強度		70以上	60以上	50以上	70以上	70以上	70以上